

件 名	(仮称) 百舌鳥古墳群ガイダンス施設基本計画 (案) について
経過・現状 政策課題	<p>【経過】 平成22年6月 旧大阪女子大学跡地(約2ha)を大阪府より取得 平成24年7月 旧大阪女子大学跡地(約3.1ha)を大阪府より取得 平成26年3月 堺市博物館内に百舌鳥古墳群ガイダンスコーナーを設置</p> <p>【現状・課題】 ○市民や来訪者に百舌鳥古墳群の歴史的意義や価値を理解してもらい、古墳群の保護意識を醸成するとともに、古墳群を堺の魅力として広く国内外に情報発信するガイダンス施設が必要。</p>
対応方針 今後の取組 (案)	<p>【今後の取組み】 ○仁徳天皇陵古墳に隣接する旧大阪女子大学跡地を活用し、百舌鳥古墳群についての「学び」「交流」「周遊」を目的に施設を整備する。 ○整備にあたり、【(仮称) 百舌鳥古墳群ガイダンス施設基本計画】を策定する。</p> <p>【(仮称) 百舌鳥古墳群ガイダンス施設基本計画案】 ○コンセプト:世界遺産-百舌鳥古墳群に会う 『古代日本・百舌鳥野への招待』 ○計画地を2つのゾーンに分け、ガイダンス施設ゾーンを先行して整備する。残りのゾーンは、府道深井畑山宿院線からの進入路の整備後に、着手する。</p> <p>【概算規模及び概算経費】 ○約4,000㎡ ○約38億円(用地取得費、進入路整備費を除く)</p> <p>【今後のスケジュール(案)】 ○平成27年度 基本計画策定、基本設計着手 ○平成28年度～ 基本設計・実施設計・整備工事 ○平成31年度中 施設供用予定</p>
効果の想定	<p>○歴史と文化を活かしたまちづくりを進める一環として次の効果がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界文化遺産-百舌鳥古墳群を将来にわたって確実に継承していくために必要な、市民の古墳群への誇りや愛着を育むことができる。 ・百舌鳥古墳群への来訪者を迎えるおもてなしの環境づくりに寄与する。 ・百舌鳥古墳群を堺の魅力として、世界に向けて情報発信することができる。
関係局との 政策連携	建築都市局、建設局

I コンセプト ～ガイドンス施設がめざす姿～



世界遺産－百舌鳥古墳群と出会う

「古代日本・百舌鳥野への招待」

荘厳な巨大王墓を頂点に編成された古墳群一。
それは、わが国のはじまりの姿をあらわすものです。
人類史上、比類なきわが国の古代の世界へと、
すべての人びとを誘います。

II 整備の基本方針／導入機能

- 学び** ≫ 体験機能
百舌鳥古墳群の往時の姿を再現して、来館者が古代日本の世界を体験できる機能
- 交流** ≫ 交流機能
専門家を招いたワークショップ・セミナー・シンポジウムの開催や市民活動の成果の発表など多彩な交流ができる機能
- 周遊** ≫ 周遊支援機能
古墳群周遊を楽しむための情報、周遊プログラムなど快適な周遊に必要なサービスを提供する機能
- 景観** ≫ 景観機能
壮大な仁徳天皇陵古墳を体感する景観を形成
緑豊かな敷地環境と建築が一体となった魅力ある景観を形成

III 基本的事項

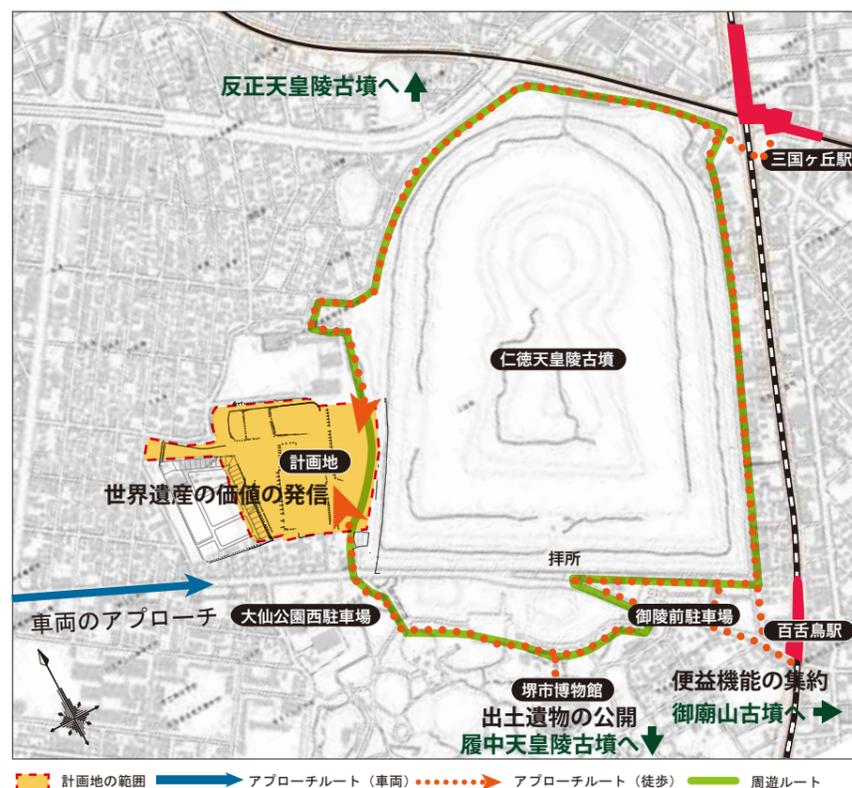
- 1) 位置
仁徳天皇陵古墳の西側に隣接して立地
旧大阪女子大学跡地（堺市堺区大仙町2番1号）を計画地とする
- 2) 面積
約5.3ha ※都市計画大仙公園用地を含む
- 3) アクセス
JR百舌鳥駅より約0.9km 阪神高速15号堺線堺出入口より約3km
- 4) 用途地域等
第一種中高層住居専用地域／大仙風致地区／高度地区（第二種）



計画対象範囲
 鉄道 (JR) 高速道路 主要地方道
 鉄道 (私鉄等) 高速道路 I.C 高速道路 I.C 高速道路 I.C
 鉄道駅 国道 バス停留所

IV 周辺都市機能との連携および役割分担

- 1) JR百舌鳥駅周辺における拠点機能との連携及び役割分担
・百舌鳥駅前を観光案内・飲食・物販等の便益機能集約
- 2) 堺市博物館との連携及び役割分担
・本施設は世界遺産の価値理解に特化、堺市博物館は出土遺物の公開
- 3) さかい利品の杜との連携
・さかい利品の杜への周遊案内を行い、堺環濠都市への回遊性向上をはかる

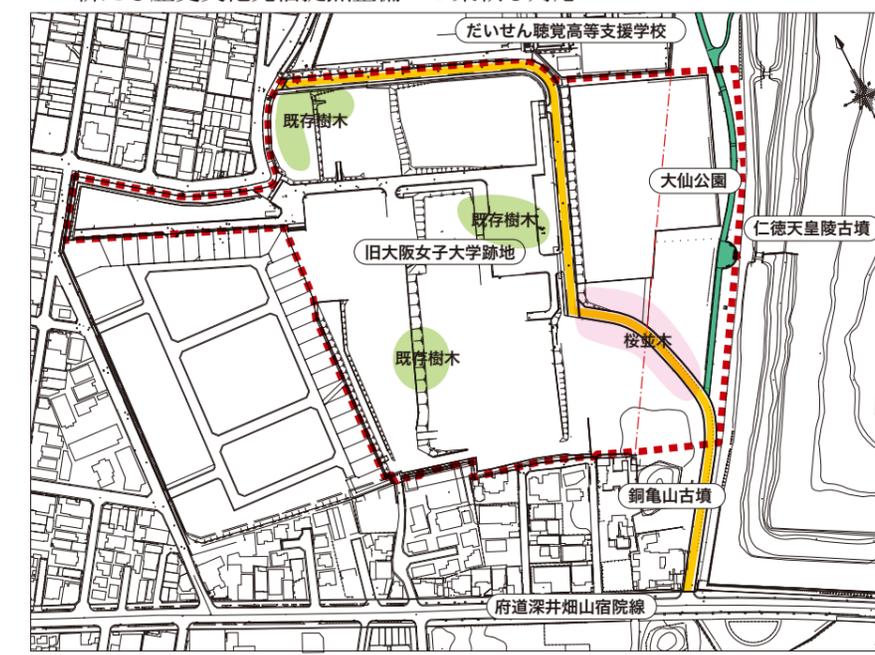


百舌鳥駅－計画地間の景観整備

- ・百舌鳥駅前を玄関口として拝所・計画地間におもてなし空間を創出（御陵前駐車場の撤去を含む大仙公園周辺の駐車場再編）

V 土地利用計画

- 1) 周辺状況への配慮
・大仙公園と一体的な緑空間の創出や公園利用者の利便性を考慮した土地利用
・隣接する一般住宅や学校に配慮した土地利用
- 2) 現況土地利用への配慮
・周辺住民の生活動線として利用されている敷地内通路に配慮した土地利用
・桜並木等の既存樹木を活かした土地利用
- 3) 現況地形への配慮
・ひな壇状の現状地形を大きく変更することのない土地利用
- 4) 来訪者の利便性への配慮
・府道深井畑山宿院線からの大型バス進入路の確保
- 5) 将来土地利用への配慮
・新たな歴史文化発信拠点整備への柔軟な対応



計画地の範囲 旧大阪女子大学通路 大仙公園園路

Ⅵ 計画地の活用とゾーニング

● 仁徳天皇陵古墳を体感する3つの眺めを実現

- ① 仁徳天皇陵古墳を周遊路から間近に望む
- ② ガイダンス施設から仁徳天皇陵古墳を展望する
- ③ 古代の仁徳天皇陵古墳の眺望を想像する眺め



※イメージ写真

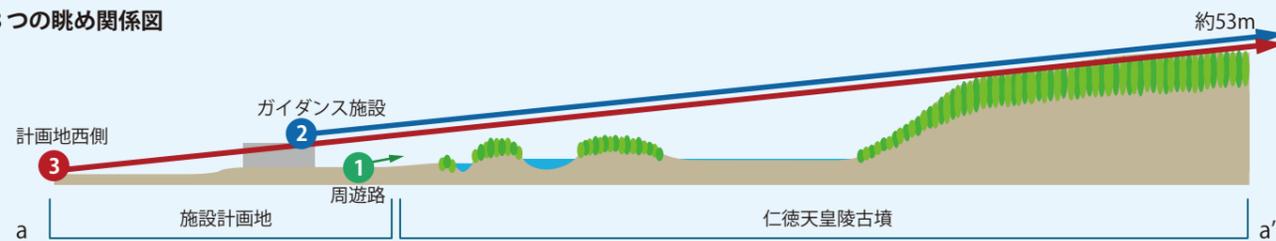


※イメージ写真



6～7世紀頃の地形 現在の地形（航空写真）

3つの眺め関係図



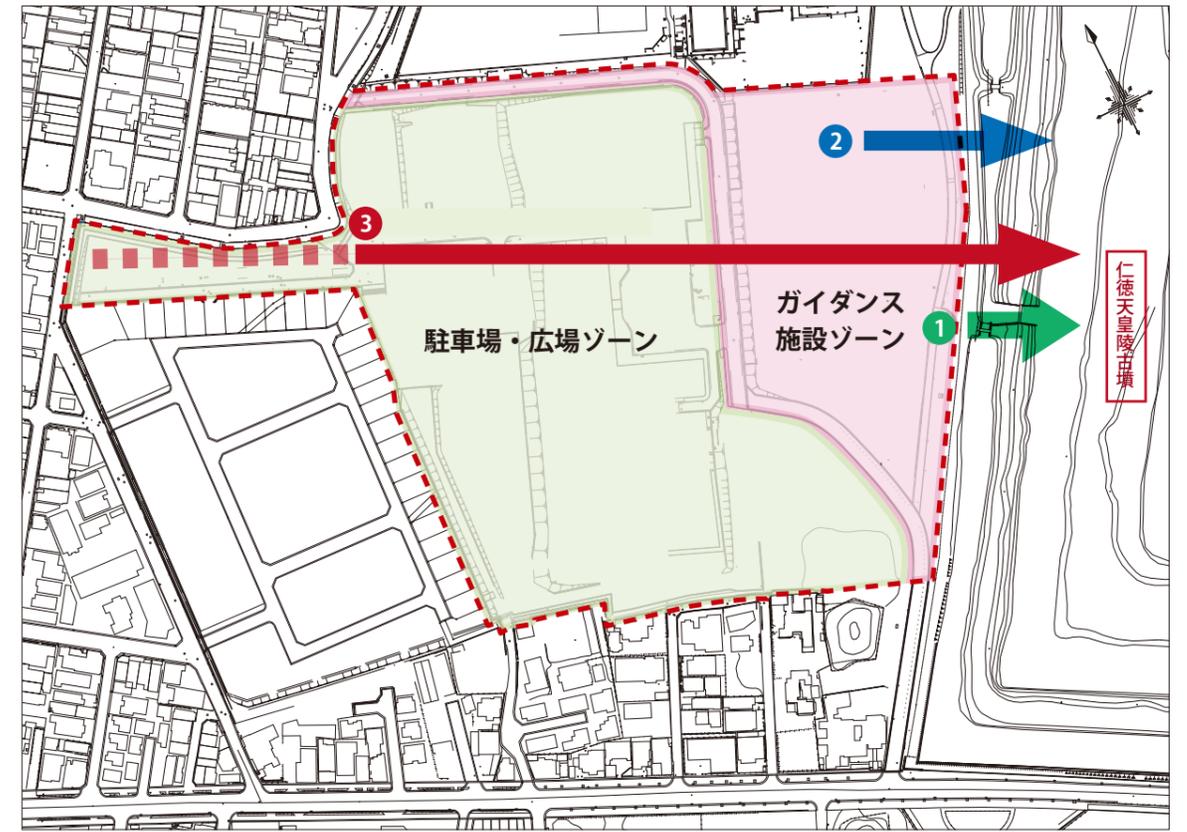
● ゾーニング

ガイダンス施設ゾーン

世界遺産に対する学び、市民や来訪者の交流、古墳群周遊の起点ゾーン

駐車場・広場ゾーン

本施設および大仙公園利用者の駐車場と緑地空間（新たな歴史文化発信拠点）ゾーン



① 仁徳天皇陵古墳を周遊路から間近に望む ② ガイダンス施設から仁徳天皇陵古墳を展望する ③ 古代の仁徳天皇陵古墳の眺望を想像する眺め

Ⅶ ガイダンス施設計画

● 導入施設と概算規模

合計面積 4,000㎡ 公開エリア面積の計 2,600㎡ (65%) 非公開エリア面積の計 1,400㎡ (35%)

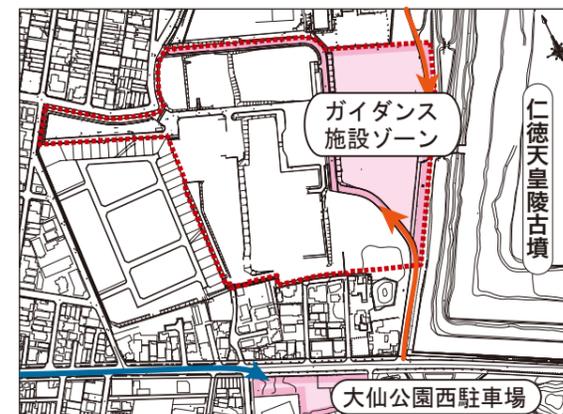
エリア	ゾーン	面積㎡	備考
公開エリア	共用ゾーン	900	エントランス/トイレ/通路/階段/ロビー/EV
	体験ゾーン	1,050	視聴覚室/体験展示コーナー/展望ラウンジ/展望デッキ(屋上)
	交流ゾーン	600	交流センター/団体用多目的室/会議スペース
	周遊支援ゾーン	50	情報コーナー
小計		2,600	
非公開エリア	管理事務所ゾーン	450	管理事務所/ユネスコ「アジア太平洋無形文化遺産研究センター」
	バックヤード	950	トイレ/通路/階段/EV/機械室
小計		1,400	
合計		4,000	

Ⅷ 段階的整備

● 段階的整備の基本的考え方

第1期（進入路整備前）
早期に整備（目標平成31年度）

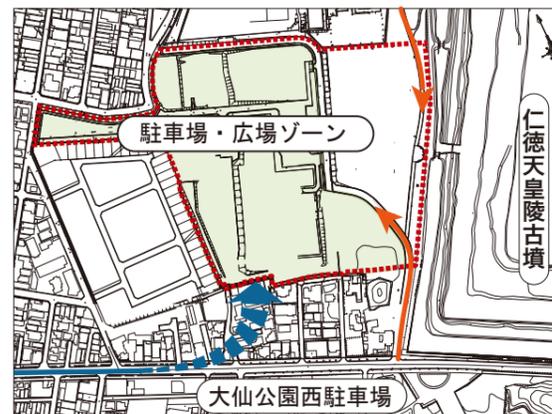
- ① ガイダンス施設整備
- ② 区域外駐車場（大仙公園西駐車場）の活用



計画地の範囲 整備範囲

第2期（進入路整備後）
御陵前駐車場の撤去を含む大仙公園周辺駐車場の再編に合わせて整備

- ① 区域内駐車場整備
- ② 緑地空間の整備



本施設へのアプローチルート（車両）
本施設へのアプローチルート（徒歩）

Ⅸ 管理運営計画 整備費概算

● 管理運営計画の基本方針

- ① 展示内容の定期的な更新
- ② 利用者ニーズの反映
- ③ 事業間の効果的な連携
- ④ 多様な主体の参画

● 入館料金 無料とする

● 管理運営方式 指定管理者制度の導入を基本とする

● 整備費概算（用地費除く、消費税8%込み）

	整備費用	第1期	第2期
建築	19（億円）	19（億円）	—
外構	12（億円）	4（億円）	8（億円）
展示	7（億円）	7（億円）	—
合計	38（億円）	30（億円）	8（億円）

X 展示コンセプト／展示テーマ



●展示コンセプト

「よみがえる古代日本・百舌鳥野の姿」

●展示テーマ

主要テーマ①
 世界遺産の価値（評価基準iii）
 世界に類のない被葬者の
 政治的階層性をあらかず古墳群

主要テーマ②
 世界遺産の価値（評価基準iv）
 わが国独自の巨大王墓

補完テーマ①
 東アジア世界との交流
 新技術・生活様式の導入
 （百舌鳥古墳群築造の時代背景）

補完テーマ②
 世界の王墓比較
 世界の王墓と
 仁徳天皇陵古墳

XI 展示ストーリー／展示内容及び展示手法例

百舌鳥古墳群ガイダンス施設

